

1 - 1 北海道東部の重力変化について

Gravity Changes in the Eastern Part of Hokkaido

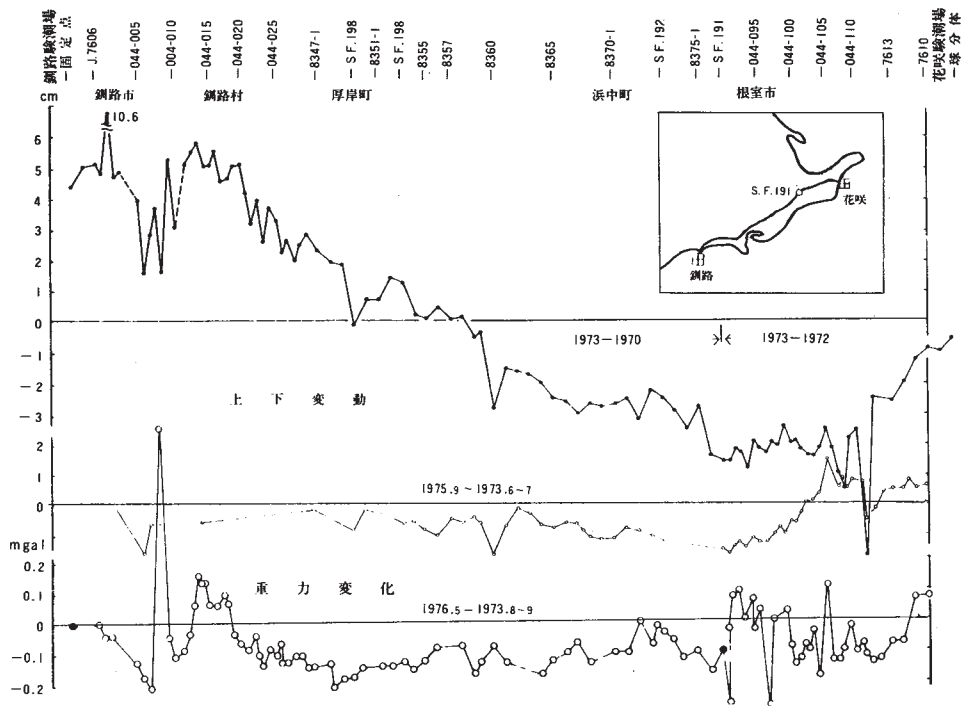
国土地理院 地殻調査部

Crustal Dynamics Division, Geographical Survey Institute

国土地理院による北海道東部の重力測量は、第1回と第2回がノースアメリカン重力計により、第3回目は根室沖地震の直後、1973年8～9月にラコスト重力計（G-223）で行なわれた。さらに地震後の垂直変動を調査するため、地震後2回目の水準測量が実施されたのに併せて、ラコスト重力計（G-83）による重力測量が1976年5～6月に行なわれた。前回と異なり、今回はラコスト重力計どおしの比較であるが、道路基準点が多いせいか、雑音が目立っている。

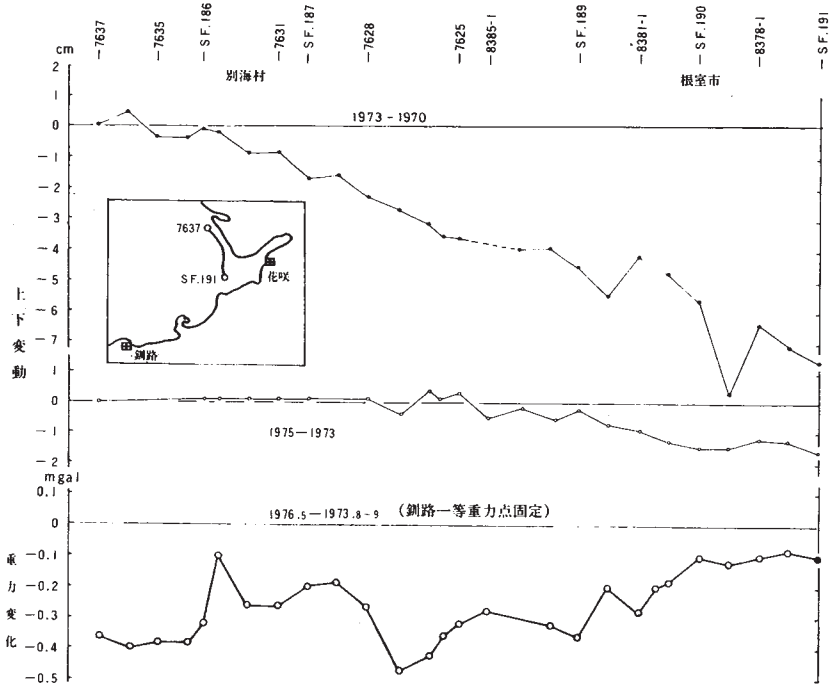
各水準点における重力の変動量は、釧路一等重力点を不動として計算し、根室沖地震をはさむ1973年～1970, 72年と（上段）、地震後の1975年～1973年（中段）の上下変動図と並べて示してある。

釧路、花咲間は、最大傾斜方向にほぼ直交した路線で、大きな変化はみられないが、釧路村付近では今回の重力変動量と前回の上下変動量の間に関係があるように見える。またSF191から別海村に至る路線では、北に行くほど重力は減少しているが、この変化量も、ほぼ同じ時期の上下変化量よりもむしろ地震をはさんだ1970年以降の変化量に見合った変化をしているように見える。



第1図 北海道東部の重力変化(1)

Fig. 1 Gravity Changes in the Eastern Part of Hokkaido(1)



第2図 北海道東部の重力変化(2)

Fig. 2 Gravity Changes in the Eastern Part of Hokkaido(2)